

FOR  
ADULT  
ONLY



*Lucrecia*

I











んは…ああ…♡



はあ…♡  
すごく濃いからね…  
ふるふるしてる♡

てしダメよ  
ちやんと腔に  
射精しないと…♡

グワッ  
ポコポコ



グワッ  
グワッ

ん…♡

んふう…♡

おんんんん

おんんんん



さ 次は誰…？

グワッ  
グワッ  
グワッ

誰からでも  
いいのよ

ちやんと全員  
相手してあげる  
から…♡

ほら…  
射精したいん  
でしよう？

ここに…  
おまんこに精液  
ドブドブ注いで

私をたっぷり  
孕ませて…っ♡

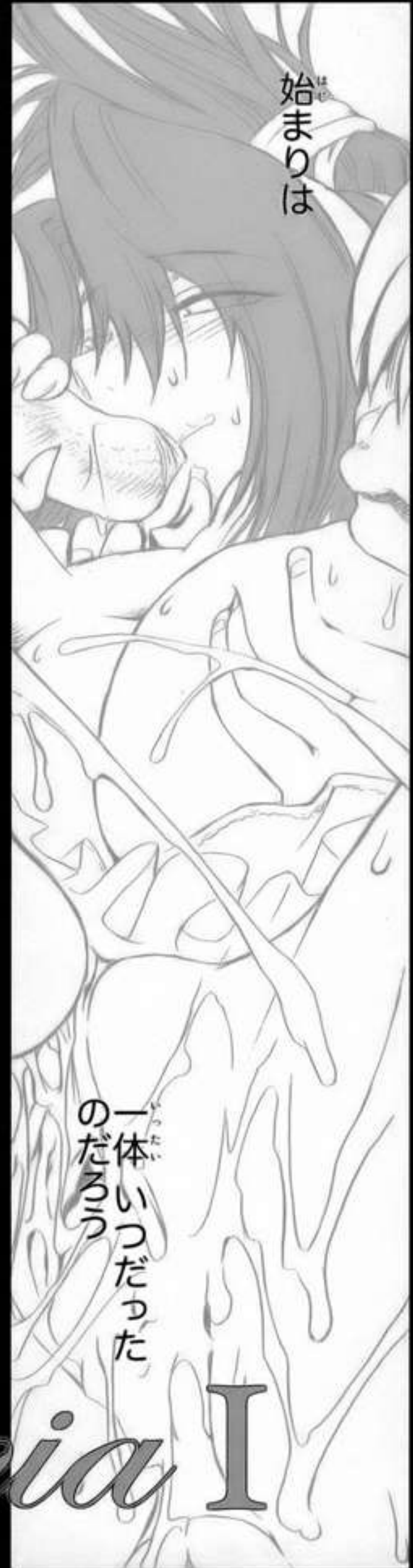
又  
干



あるいは  
あの男に  
求められた  
時か



あの人が  
失った時  
だろうか



始まりは

一体いつだった  
のだろうか



それとも  
彼に

出会った時  
なのか

*Lucrecia* I



シャルアさん!

や

IP  
Rd...

あ  
すい  
ませ  
ん  
ま  
だ  
準  
備  
中  
...

presented by Nao. Kokonoki

出  
歩  
い  
て  
大  
丈  
夫  
な  
ん  
で  
す  
か  
?

は  
は  
...

見  
て  
の  
通  
り  
だ  
よ  
あ  
ん  
な  
所  
に  
が  
籠  
っ  
て  
た  
方  
が  
具  
合  
が  
悪  
く  
な  
る

そ  
れ  
に

拒  
絶  
反  
応  
が  
な  
く  
な  
っ  
た  
分  
前  
よ  
り  
む  
し  
ろ  
快  
調  
な  
く  
ら  
い  
だ  
...  
清  
浄  
な  
る  
ラ  
イ  
フ  
ス  
ト  
リ  
ー  
ム  
の  
お  
蔭  
か  
な









え あの  
どうい  
ですか...?

ルクレ  
ツィア  
って...

一種の  
再統合だ  
よ  
リユニ  
オン  
タイプ  
ア



神羅A級研究員  
ルクレツィア・  
クレシェント博士

研究テーマは  
「星の循環」

ウインセントが  
カオス生命体の因子を  
持っている事から  
推察するに  
彼の改造手術にも  
携わっていたと思われる

ジェノバ・  
プロジェクトの  
主要メンバーにして  
オメガ・カオス理論の  
提唱者...

そして

大なる災厄  
...セフィロスの

文字通り  
「産みの母親」

シエルクの中の博士の記憶の断片が一時的に疑似人格として再構成されているんだ…

これはア  
テッテ  
フア

神羅屋敷で何が  
行われたのか  
本人から直接  
聞ける…！

失礼しました  
私はシャル  
ル・イという  
研究者です

あなた方の  
神羅屋敷での  
研究の詳細を  
お教え願いた  
い

…私  
…の…？

不躰で申し訳ない  
…妹を救うために  
必要なのです

それは…  
無理だわ…

そんな…！

お願いします  
力を貸し…

無理…なの…

私には



あご、ごめん  
なさい……っ

そ、そう  
タークスなんて  
初めて見たもの  
で……!



よろしく  
お願いしますね  
護衛さん



ふん……  
新人の護衛ねえ



……あの……?



私には

誰かを救う  
ことなんて……

あんな若造が  
役に立つのかね

養成所では  
主席だったよ

あてになる  
ものか

ルクレツィア

そんなこと  
よりも  
そろそろ返事を  
聞かせてくれ  
ないか

…ごめんなさい  
もう少し…

もう少しだけ  
待って…

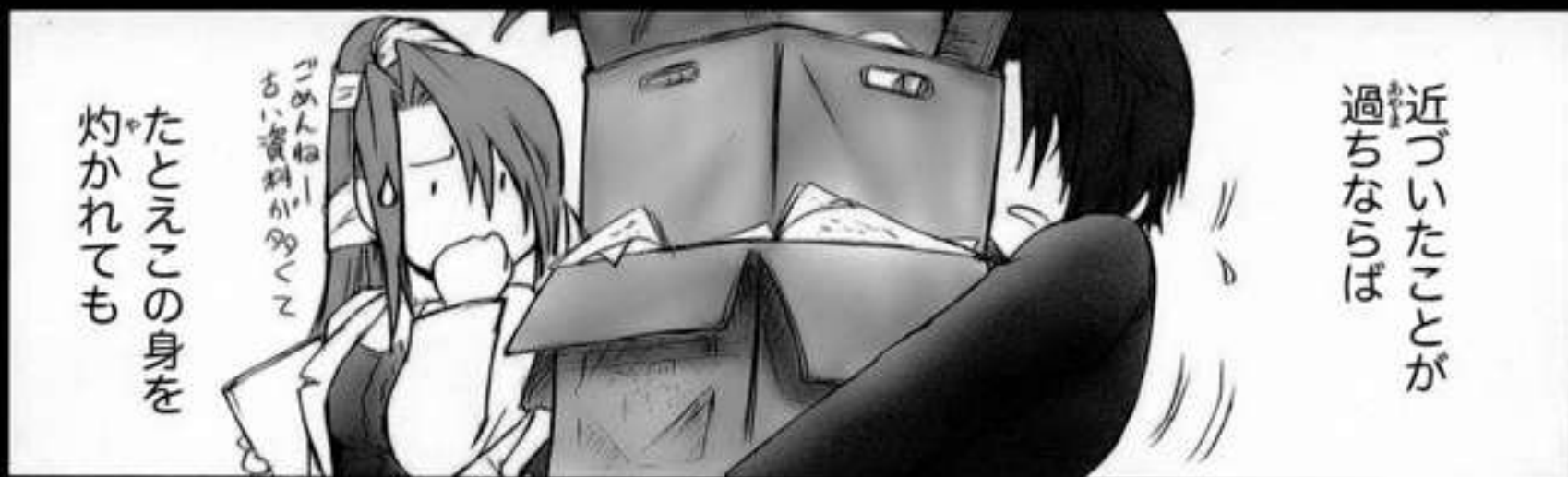
ああ  
いくらでも  
待つよ

私には  
君が必要  
だからね…

…出会った事が  
罪ならば

進んで罰を  
受け入れよう





近づいたことが  
過ちならば

つめんどろー  
ちい資料が多くて

たとえこの身を  
灼かれても



…そんな覚悟も  
ないくせに  
私は…!

…何してるの？

…私は

どうしてここに  
親父のデータが…？

不用意で  
軽率で  
愚かで

…ワインセント？

ルクレツィア！

どうして…

軽率で  
愚かで  
不用意だった



まだ間に合う

なんて軽率(いそぎ)だ  
たんだらう



これでいい  
何も変わらない

何も壊れない  
彼と出会う前に  
戻るだけ

…本当に



今なら  
まだ



私は  
なんて愚(おろ)か

なんて  
不用意(いそぎ)で



どうか  
したかね?

て、  
手が...

これから夫婦に  
なろうというんだ  
普通のことだろう

まさか正式に  
結婚するまで...  
というわけでも  
あるまい?



そ、それは…  
そうだけど…  
こ、こんな所で  
なんて…  
だ、誰かに  
見られたら…

もし彼に  
見られたら…

ここなら大丈夫だ  
私の許可がないと  
入れないからね

で、でも…



…まさか君は  
あの男に…

な…っ

か、彼はただの  
護衛よ!

へ、変な勘ぐりは  
よして!



なら  
問題ない  
だろう?

あ…っ

私達の気持ちは  
固まっているの  
だからね…

…そ、そう…ね

こ、ごめんなさい  
突然だったから  
反射的につい…」

そうだわ…

私ったら  
今さら何を…

これでいいのよ

何もかもが  
うまくいくのよ

ん...

ん...

ん...

ん...

授乳に適した  
少し大きめの  
乳首...

あ...

異性にアピール  
するために  
発達した乳房  
つやつやと  
張った乳輪...

はや、  
やめて、  
恥ずかし  
んん...っ♡!!

ふ...

...素晴らしいよ  
思った通りだよ  
ルクレツィア

君は  
頭脳だけでなく  
肉体も生物学的に  
優れている

はあう！♡

ひあ…っ…♡  
ああ…あ…♡

反応も健康そのものだ…  
ほら、ほとんどん  
勃起してくる

あ…っ…♡

基本的に筋肉質だが…  
適度な脂肪が覆って…  
ほう、ここは殊更ことさらに  
柔らかいな

ふむ…普段から  
ぬかるんでいる  
ようだね

んっ♡

もう受精の準備は  
できているという  
ことだな

そ、そんなこ…  
な…ああ…っ♡

いや、きわめて  
健康体だという  
ことだよ

はっ…♡

ほら…  
陰唇が膨れて  
開いてきた

んっ♡



な...あ...っ♡  
な...長...ゆ...♡  
ゆ...ひ...イ...♡

あ...♡

うあ...♡

は奥...にあ...♡  
は...あ...♡

は...♡

んあはあっ!!♡



そんな腰を  
突き出して  
脚を広げて...

余程これが  
好きなんだな

はあ...っ♡

はあっ♡

ち、違...  
あああ...っ!!!♡

ああ奥が  
いいのかね？

あ...♡  
あ...♡  
あ...♡



あ  
ああ  
おお  
おお

ちう  
やう  
受け  
入れ  
だ

あ  
わ  
た  
し  
に  
あ  
ら  
ま  
り  
し  
ま  
す



…これは  
意外と…

あ…♡



どうやら君は  
思っていたより  
ずっと

理想的な肉体を  
しているようだ

お  
お

あ  
あ

あ  
あ





ほ、宝条…！



ん…っ

ああ  
は、入って  
くる



そうそう君は  
自分で気付いて  
いないようだが…



さっき私は  
「あの男」とは  
言ったが

あ、あなた  
知ってて  
わざと…!?

「護衛」とは  
一言も言っていない  
んだがね？

いや 君ら二人に  
何があったかは  
知らないがね

自分で選んだ  
のだから？

あ…  
かは…っ♡

安心したまえ

君が思っている  
よりも 私たちは  
相性がいいらしい

君の膣肉は  
長さや太さを確認  
しているようだぞ？

そ、そんなこ…  
ん…っ♡

それにこうして  
引き抜こうと  
すると…

うあ…♡

久しぶりの男性器を  
逃すまいとして  
びっちり吸い付いて  
くるじゃないかね

あ、あ…  
う、嘘オ…っ

まったく  
君の女性器は  
実に優秀だよ  
ルクレツィア

あっ♡!!

は、激し…  
す、過ぎ…っ  
うあ…っ…♡!

は…っ♡!



こ、こと...っ  
ひ...っ♡!?

と、とど...い...っ  
ふ、深ア...っ♡♡♡!!!

...これは一つの  
契約だよ  
ルクレツィア



これから  
お前の子宮は  
私の道具だ

あゝあゝ  
あゝあゝ



んあはあっ!!♡

んっ♡!!

これならさぞかし  
丈夫な子供を  
身籠るに違いない

あっ♡!!

はあ...っ♡!!

……

…宝条だ

何か用かね？

あ、あの…

ル、ルクレ…  
ク、クレーシエント博士は  
書齋に…？

ルクレツィアなら  
ここにいます

ホ…

待て  
今代わって  
やろう…

え…  
ほち、ちよつ…  
ほ、宝…

あ…  
ヴィンセント  
です

さ、先程は  
失礼しま  
した…！

お、驚いた  
もので  
つい…

ん…っ！  
い…い…っ♡

え？

い…あ…  
き、さいのよ  
さ、さっきの事  
は気にしない  
で

ほ、他に  
何か…？

IP

…わ

私…よ  
な、何かし…  
ら…っ…？

ル…は、博士  
そ、その…



いえ、あの…  
居所は把握して  
おかないと…  
緊張状態には  
ありませんが  
一応、護衛なので

そ、そうね

こ、これから  
気をつけるわ…  
ん…♡

あ、ご、ごめん  
な…♡

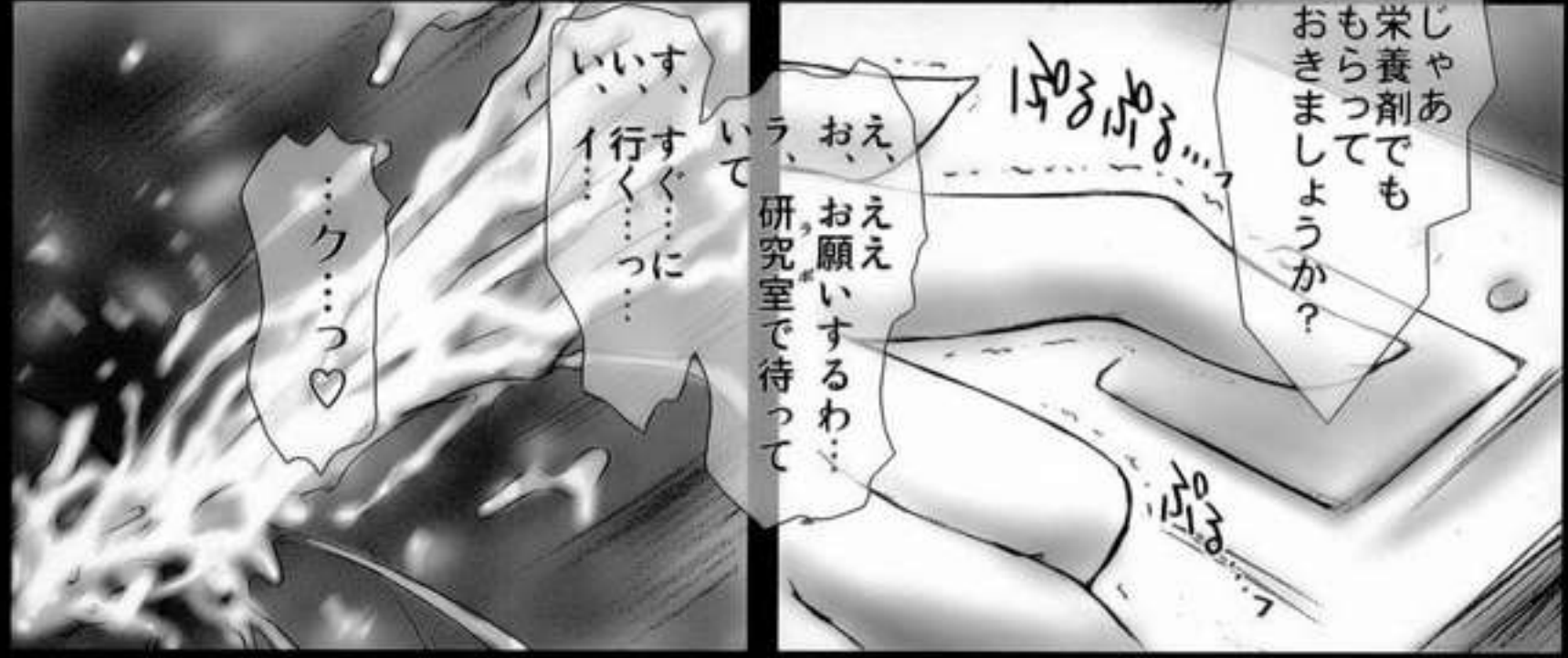


ちよつと顔色が…  
疲れているんじや  
ないですか…？

え？  
ええ…

るつ、突かれて…  
の…♡

は…♡



じゃあ  
栄養剤でも  
もらって  
おきましようか？

ええ、  
ええ、  
お願いするわ…  
う、研究室で待って

す、すぐ…  
行く…♡

ク…♡

私は一瞬早く  
通信を切ると

たった今まで  
彼が映っていた  
モニタの前で

声も出ないほどの  
絶頂を迎えた

この日三度目の  
受精を子宮で  
味わいながら…

……  
♡♡  
!!!

そして

もし通信を切るのが  
一瞬遅かったら...



それを想像すると  
そのまま更に  
二度昇りつめて  
気を失った

To Be Continued



*Shin-Ra Electric Power Company*

ここのき屋